



武生桐箱箆

洋服や小物など大切なお気に入り
をしっかり守ってくれる桐材。

防湿や抗菌、通気性に優れた桐材で作上げる箱箆は、湿気が多い福井の土地柄に適した家具である。大切な洋服や衣類はもちろん、お気に入りの小物やアイテムを保管するにも最適と言える。昔ながらの総桐箱箆なら一飽かけるだけで美しさが甦り、現代のライフスタイルに合ったデザインにリメイクするのも良い。

島中桐箱箆
福井県越前市広瀬町121-27-2
TEL.0778-22-3021



三国箱箆

三国の歴史と文化に想いを馳せる
一生モノの和家具。

北前船の寄港地 三国で生まれた独特の趣きと重厚な造りは、まさに“日本家具”の歴史や文化を凝縮した逸品。そして、洋室をはじめ様々な空間にも自然と馴染んでしまう雰囲気も醸し出している。ケヤキや桐、漆など本物の材料と先人達から受け継がれた想いと確かな技術は、時代が変わっても色褪せることはない。

(有)匠工芸
福井県福井市若杉3-905
TEL.0776-34-3848



越前竹人形

竹独特の曲線と細工、
経年のアメ色から癒しを感じる。

かつて、福井の至るところにあった竹藪と、職人の創意工夫で生まれたのが竹製品である。軽くて丈夫、年月を経てアメ色になっていくと、やさしさや懐かしさ、心をホッとさせる不思議な魅力も加わってくる。福井出身の作家 水上勉氏の同名小説を読むと、さらに越前竹人形の奥深さを実感できるのではないだろうか。

福井竹芸尾崎欽一工房
福井県福井市松本3-10-13 TEL.0776-23-4770
竹工芸 創竹(金津創作の森)
福井県あわら市青ノ木44-21 TEL.0776-73-1645



銀杏材木工品

プロも愛用するアイテムで、
料理のスキルアップを目指してみる。

古来より“神の木”と呼ばれる銀杏。その代表的アイテムがまな板である。油分が多いため水はけが良く、弾力があるので腕への負担も少なめ。刃当たりが良いので包丁も傷みにくく、消臭効果があるなど、料理スキルをアップさせてくれそうな要素も揃う。包丁の音や響きも心地良いので、料理時間も楽しめるだろう。

(株)双葉商店
福井県福井市足羽1-26-8
TEL.0776-36-3796



越前和燭

やさしく揺らぐ炎と美しい装飾で、
お気に入りの空間を演出。

江戸時代に生まれ、仏教や様々な儀式にも使われてきた和燭。原料は植物のハゼの実で、芯は特別に漉いた和紙。揺らぐ炎は消えにくく、油煙も少ない環境にやさしいSDGsアイテムでもある。白や朱色以外にも花々が描かれてあったり、アロマ付き、現代インテリアに合ったデザインなど、空間演出にも役立つだろう。

(株)小大黒屋商店
福井県福井市順化2-15-9
TEL.0776-22-0986





越前指物

一つの木からいねいに作られる
年輪の美しさを生かした指物。

“浮月挽(うげつびき)”とは、年輪100年以上のケヤキを10年以上乾燥させて、ロクロで巧妙に輪を浮堀挽にしたもの。最近では円形だけでなく、八角形に挽いて表現するなど進化を続けている。また、一つの木を挽いているので、表面模様(年輪)はピタリと一致する。独自の技法と美しさは、まさに芸術品といえる。

田中光月
福井県鯖江市別司町42-6-2
TEL.0778-65-2569



うるしダルマ

元気づけられたり、ホッとしたり。
ダルマのパワーで、人生順風満帆!

カラフルな色彩の正体は漆で、一つひとつ色合いも形も異なる一点もの。キリッとしたダルマの表情に気持ちが引き締まったり、元気づけられたりするので、小さいものはキーホルダーとして愛用する人も多い。また、いくつも並べてみれば空間アクセントにもなる。凛々しいダルマの他に、やさしい福姫ダルマもある。

ツカモト民芸センター
福井県小浜市福谷8-29-8
TEL.0770-52-2590



若狭和紙

強度があり用途も広い手漉き和紙。
暮らしの様々なシーンを彩る。

清らかな水と若狭の風土から作られる手漉き和紙。ちぎり絵や手芸用、友禅の原紙として使われているが、用途はまだまだ広い。例えば、白い和紙に色紙をさせばアクセントになるし、ランプシェードで独特の色も楽しめる。また、若狭和紙は強度も自慢なので、暮らしの色々な部分にアレンジして使ってみよう。

若狭和紙の家
福井県小浜市遠敷4-406
TEL.0770-56-0363



若狭パール

様々な色彩が織りなす輝きが
その人の魅力を際立たせてくれる。

フォーマルシーンに欠かせない装飾品、パール(真珠)。最近では、普段に楽しむ人も増えてきた。その理由は独特の美しさはもちろん、何にでも融合し変化する高いコーディネート力があるからだ。様々なアイテムがあるピンク系ホワイトの若狭パールなら、魅力をさらにアップできそう。アクセサリの手作り体験もある。

(有)間宮真珠養殖場
福井県大飯郡おおい町犬見31-28
TEL.0770-77-0432



越前水引工芸

身近に置くことで、日々好事に
満ち溢れる、財と福を招く宝船。

古来より慶事の縁起物として親しまれてきた水引工芸。和紙の紙縫(こより)に水糊を付け、色鮮やかな糸を巻くその一本一本は繊細で、美しくて華やか。工芸品からは作り手の祝う気持ちも伝わってくるようだ。お祝いの後は飾っておけるので、幸運を招くアイテムとして玄関や部屋に置いておくのもおすすめだ。

西谷物産(株)
福井県福井市下馬3-1716
TEL.0776-50-0707



武生唐木工芸

古い家具を“モダン”と捉えて、
唐木で新しい家具を作り上げる。

唐木とは、唐の時代に日本に伝来した木材のこと。主に紫檀(したん)を使う唐木工芸では、“古い”を“モダン”と発想を転換することで、今までになかった様々なアイテムを作り出している。また、美しい艶と光沢は何度も塗り磨いた漆によるもの。長年使い込むことで経年変化が楽しみ、愛着もわいてくる。

唐木工芸 work ofみはら
福井県越前市神明町1-23
TEL.0778-22-4602



越前ノ縄

幸せを願いながら編み上げるしめ縄。
飾ることで、気持ちも引き締まる。

正月に欠かせないしめ縄は、地域毎に編み方が異なる。ワラを完全に乾燥させ、変色前に保存。そこから編む作業となるので全工程は一年がかりである。ダイダイは子孫繁栄、アシビヤヒイラギは邪気退散など、山海の産物を付けて天下豊楽も願うという。心を込めて編んだしめ縄が、新しい一年の幸せを迎え入れてくれる。

(株)山崎農園
福井県丹生郡越前町織田97-8
TEL.0778-36-1698



福井仏壇

目まぐるしく変わる迷い多き時代に、
心に安寧を与えてくれる。

見る者を圧倒する堂々とした佇まいが特徴的な仏壇は、江戸時代末期から作られ、大正時代に今のデザインとなった。本漆塗りに見事な蒔絵、金箔はととも美しく、心を静かに落ち着かせてくれるだろう。激動で、迷うことも多い現代、家族の歴史でもある仏壇は、いつでも私達を見守ってくれている存在なのである。

福井仏壇工芸会
福井県福井市米松2-24-36
TEL.0776-54-1933



油 団

和紙と荏胡麻油が作り出す不思議な感覚は、
エアコンとはまた違う涼しさ。

油団とは、夏の風物詩の一つ。和紙を何枚も貼り、表面に荏胡麻油を塗った敷物は、夏の暑さをひと時でも和らげ、ひんやりとした涼感を感じさせてくれる。完成時は乳白色だが、少しずつ深い鉛色へと変化する。手ずから拭きあげることで独特の艶を得る。より味わい深くなっていく油団は、部屋の雰囲気も素敵に変えてくれる。

紅屋紅陽堂
福井県鯖江市田村町2-10
TEL.0778-62-1126



鯖江木彫

自分の人生も思い出させてくれる
アメ色に変わっていく木彫作品。

私達の身近にある木材、そして木彫作品。材料は主にケヤキやクス、ヒノキなどで、なんと200本以上ものノミを駆使して仕上げていく。つまり、ノミひとつ、彫り方ひとつで柔らかさややさしさ、凛々しさ、重厚感さえ出すことができるのである。年月を経ることで木地がアメ色に変化していくのを楽しむのも一興である。

鈴木彫刻所
福井県鯖江市平井町55-13-1
TEL.0778-62-1836



越前鬼瓦

日々の安心・安全を願う気持ちに
寄り添う、厳しくもやさしい鬼。

発祥は江戸時代中期頃で、睨みをきかせた表情が魔よけとして住宅や寺院の屋根に多く見られた。近年では、小型のものが玄関や入口に置くインテリアとして人気を集めている。また、全国でも珍しい全工程を腕一本で造り上げる鬼師工房では、古来からの技術を継承しつつ、現代の暮らしに合った作品を生み出している。

福井県瓦工業協同組合
福井県福井市文京6-7-3 TEL.0776-22-3912
北川鬼瓦
福井県越前市池ノ上町8-5-1 TEL.0778-23-5744



武生唐木指物

唐木の美しさを引き出す職人技で
作り上げられた、芸術的な工芸品。

伝統的工芸品「大阪唐木指物」を、武生(現 越前市)にて伝承し伝統的技術技法を忠実に守り続け100年。唐木とは、紫檀、黒檀、鉄刀木、花梨材の総称。堅い木質で金具を使わない指物技術で制作し、仕上げの天然漆を漆摺り拭き漆仕上げが美しい光沢と風合いを。古くなったお道具も確かな技術で甦る。

(有)高嶋木工所
福井県越前市府中1-6-8
TEL.0778-24-0601





三国提灯

和紙からのあたたかい灯りて
一瞬、現実逃避。幻想的な世界へ。

材料は竹と和紙、そして照明のみ。そこに色鮮やかな文字や模様が描かれることで賑やかさが加わり、日本の文化や歴史、趣きを感じさせてくれる。和紙を通したやわらかな灯りはやさしくて、あたたかくて、癒される感覚も得られるだろう。自分だけの小さな提灯を作る「三国提灯づくり体験」も受け付けている。

三国提灯 いとや
福井県坂井市三国町南本町2-3-29
TEL.0776-81-3574



越前菅笠

想像以上に涼しく、雨もしのぐ
高性能なレトロアイテム。

江戸時代以降、農家の副業として盛んだったのが菅笠作りである。男性が骨組みとなる竹を割り、女性が菅笠を縫うシンプルな造りだが、菅草の天日干しと浸水により、雨も熱も通さない高い性能を誇る。猛暑下での屋外作業やガーデニングなどにも最適なアイテムだ。受注生産ながら、全国に愛用者も多い。

越前菅笠を守る会
福井県福井市田尻板谷町1-22
TEL.0776-98-2333



福井三味線

和楽器から未知なる音の世界へ。
様々な音色が心をふるわせる。

初代は箏販売、二代目より箏と三味線を自ら製作し始め、現在三代目はさらなる高品質の音を目指しながら製作と修理を継承している。三味線の音色は華やかさや賑やかさがある一方、もの悲しくも感じられる独特の趣きや奥深さがある。歴史ある和楽器に触れることで未知なる世界が広がり、“音の沼”へと導かれていく。

(有)伊与和楽器店
福井県福井市中央3-12-27
TEL.0776-22-5644



越前洋傘

雨の日が待ち遠しく、開くのも楽しい
縁起の良い手作りの傘。

眼鏡枠技術を生かした24本の骨組、混織羽二重を再現した生地、越前漆器の技術を採用した持ち手と傘の頭部分。福井県産素材で、しかも全工程手作りの洋傘は丈夫で美しく、使い勝手も抜群である。傘は運気を広げる末広がりを意味し、露払いや厄払いなど物事が丸く収まる縁起物でもある。雨の日が待ち遠しくなりそうだ。

(株)福井洋傘
福井県福井市浜別所町4-4-2
TEL.0776-85-1114



石田織

長く愛用できるお洒落な縦縞。
着物好きが支持する逸品も。

木綿を使った藍染中心の縦縞の手織物。丈夫さに定評があり、かつて福井県下の女学校や小学校の制服にも採用されていた。小物入れやエプロン、コースターなどのアイテム以外にも、竹紙という越前和紙を糸に紡いで織り込んだ全国でも珍しい木綿織物“越前石田縞”は着物や帯として愛好されている。

協同組合 鯖江市織維協会
福井県鯖江市紀町32-1-1 TEL.0778-52-1880
佐々木理恵
福井県鯖江市長泉寺町1-6-15 TEL.0778-51-4647



組子指物

繊細すぎる高い職人技術に感服。
1年以上待つ甲斐のある美しき逸品。

手作業で木を組み合わせていく「組子」は、木の大きさが小さいほど繊細さを増す。特徴的なデザインの一つ、網目文様は竹を編む技術を参考にしたもので、最小で1.5ミリ角の木片に溝やホゾを入れていく、高い技術を要する。制作期間は1年以上だが完成を待つ甲斐があり、使う喜びや優越感も得られるだろう。

土工芸
福井県大飯郡高浜町上瀬7-27
TEL.0770-76-1514

福井の伝統工芸を楽しむ 伝統工芸関連イベント



RENEW

鯖江市・越前市・越前町で行なわれる、持続可能な地域づくりを目指した産業観光イベント。越前漆器・越前和紙・越前打刃物・越前筆筒・越前焼・眼鏡・繊維の7つの産地から工房、飲食店、宿、地域企業が参加し、工房の見学や趣向を凝らしたワークショップを体験できる。

開催時期／毎年10月上旬

開催場所／鯖江市、越前市、越前町全域

箸まつり

塗り箸の全国シェア80%を誇る小浜市の人気イベントで、「はしのひ」にちなみ、毎年8月4日に開催。箸研ぎ体験や箸ブロック工作の他、館内の商品を半額にて提供する。使えなくなった箸の供養神事も行い、古くなった箸は一家族5膳まで交換してくれる。

開催時期／毎年8月4日

開催場所／箸のふるさと館WAKASA



千年未来工芸祭

越前和紙や越前打刃物、越前筆筒など、「モノづくりのまち」越前市を代表する工芸を中心に、製品や手仕事を身近に感じることができイベント。全国各地から100を超える、伝統工芸、クラフト、食といった各ジャンルの職人が集結し、展示販売やワークショップを開催する。

開催時期／毎年8月下旬

開催場所／越前市アイシンスポーツアリーナ、他



開催場所／越前陶芸村

越前陶芸まつり

越前焼の窯元が一堂に集結する県内最大規模の陶器市。新作をはじめ数多くの焼き物が販売される。伝統工芸品や地元商工会加盟店などの飲食販売のほか茶会などの催しもあり、まつり期間は多くの人で賑わうイベント。

開催時期／毎年5月最終土・日曜日



河和田塗 越前漆器まつり

1500年もの歴史と伝統を誇る越前漆器を体験できるイベント。漆器の即売会をはじめ、絵付け体験や伝統工芸士の実演の他、フードコーナー、コンサートなどさまざまな催しで賑わう。普段は中々見られない掘り出し物やお買い得品などを多数展示販売する。

開催時期／毎年5月3日・4日

開催場所／うるしの里会館



えちぜん和紙の市

越前和紙産地の製紙所が一堂に、日頃購入することができない様々な越前和紙を販売。また、会場内にある『パピルス館』内のショップ「和紙処えちぜん」にて割引セールも開催する。

開催時期／毎年5月3日・4日・5日

開催場所／越前和紙の里 パピルス館前駐車場



ふくいモダン刺し子

日本伝統のデザインを守りつつ、独自のデザインで新風を織り込む。

昔、貴重な布を大切に使うため生まれた技法が「刺し子」。布を何枚も重ね丁寧に縫い込み、新たな強度と温もりを生み出す。麻の葉、七宝、千鳥など、日本の伝統デザイン特有の幾何学文様が刺された布は、生活品としての価値をより高めていった。現在は独自のデザインも加えながら作品を制作し、刺し子技法を伝承している。

五島万里代
福井県丹生郡越前町小原110-114
TEL.0778-32-3457



今谷焼

1000年以上の時を超えて復活。新旧を融合させたクールジャパン。

1990年、おおい町今谷で須恵器の窯跡発見を機に復活。地元「きのこの森」周辺の赤土をブレンドした土は鉄分が多く、艶っぽい黒色に反映。その黒色を生かしながら現代に合うアイテムが作られている。2017年にはフランス パリで販売され、クールジャパン商品として高い評価を受けた実績もある。オーダーも対応可能。

(株)おおい
福井県大飯郡おおい町鹿野42-27
TEL.0770-78-1714



越前竹細工

地元材料で作り上げる後世までも使える収納アイテム。

大正元年、徳川慶喜公より竹廣斎の号を授与、現在4代目。竹の骨組みに和紙を何度も貼り重ね、漆で塗り上げる一閑張りは、皇室の衣装入れとして献上の経験もある。素材はすべて地元産の竹と和紙、漆、しかも手作りであって、丈夫で防虫効果もある。お気に入りの収納する他、贈り物としても喜ばれている。

野原竹工所
福井県鯖江市戸口町20-15
TEL.090-4680-8968